

内 容: スタンダードの手術準備・器具の取り扱いをしっかりと身に付ける。

大学の手術の見学を行う。

また、昨今獣医療において、飼い主とのトラブルが増加しており、診療時・手術前のインフォームドコンセント(説明と同意)の重要性が説かれています。

具体的な例を挙げ、インフォームドコンセント取り方や飼い主との接し方など、これからの獣医師に必要とされるフタ面・コミュニケーション能力の育成を行います。

日 程: 平成 22 年 8 月 22 日(日) 講義: 9:30~12:30 実習: 14:05~18:00

場 所: 東京農工大学 動物医療センター 他

定 員: 12 名 (先着順・定員になり次第締め切り)

受講料: 27,000 円 (カラーテキスト料込み)

託児サービス: 有(1才~10才)

担当教員: 東京農工大学獣医学科 准教授 田中あかね

	講 座 内 容	講 義	実 習	
1.	手術に到るまで 術前検査・手術準備	・インフォームドコンセント ・問診や術前の注意点 ・アクシデント対処法 ・術前検査 ・入院の準備と看護 ・血管確保 ・麻酔法 ・気管挿管 ・器具の名称・取り扱い方、滅菌法 ・縫合法 ・一般手術の準備	8/22 3 時間	8/22 4 時間
2.	手術見学	・動物医療センターにおける手術の見学		
3.	試験	・達成度試験 ・総復習・質疑応答	(9/1) 1 時間	
		計	5 時間	
・定員 12 名(1班 4 名×3 班)。 ・講義は1クラスに教員1名。 ・実習は1クラスに教員1名、1班に助手1名・犬1頭。 ・手術見学は、実際に東京農工大学動物医療センターにて分子病態治療学研究室が担当する手術を見学する。 ・講座終了後、達成度を確認のため試験を行う。				